

研修（研究）報告書

平成 31 年 3 月 1 日

玉名市議会

議長

中尾 嘉男 様

氏名 江田 計司 

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	江田 計司		
日時	平成 31 年 2 月 21 日(木) 午前・午後 2 時 00 分 ～ 午前・午後 4 時 50 分		
場所	東京八重洲 カンファレンスセンター	参加者数	35 名
研修(研究)事項	質問方法スキルアップ研修		
概要及び所見	<p>元議会改帯調査特別委員会委員長 高橋伸介氏から まず初めに、議会の中で共感を得るための議会要務令 議会では、最上のものを目指さない 議会では、議員全員のレベルの半歩前を提案する 議会では、徹底して合意形成に努力する 議会では、「私」を捨てる 議会では、出来れば議員全員と付き合う 理事者席に座っているのは行政のベテランが相手である 一般質問では「市政全般に対して市の見解を求め、疑問を正すもの」「知っていることを聞き、知らないことは聞かない」 自信の事前勉強と十二分なヒアリング必要。そして政策提案も出来る。 質疑では「議案に対する疑問点を正す」「議題外にわたり、又はその範囲を超えてはならない」「ただし、常任委員会での質疑では質疑の範囲をやや広く運用されることが多い」 4つの質問スタイル ① 地方・住民要望型 ② 財政・市政に関するチェック型 ③ 行財政改革型 ④ 政策提案（立案）型 市長又は執行部から見た質問 又、議員からの情報は宝の山であり、質問貯金箱の作成</p>		

議員提案には財政効果も忘れずに行政資産の有効活用。行政資産の精査と整理統合。

そして、大阪牧方市の議会質問の成果や失敗の実例等、そして一般質問に対して禍根（遺恨）を残す表現には厳に慎む様、市長・行政・賛成議員を敵に回さない様に最後にこれからの地方自治がどのようなならざるを得ないか気になるデータ。人口減少時代の質問の仕方等、第32次地方制度調査会における「圏域協力連携」に注意する様、内閣府のまち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する産業構造や人口動態等を参考にする様にと今回の研修は大変有意義であった。

様式 1

研修（研究）報告書

平成 31 年 3 月 29 日

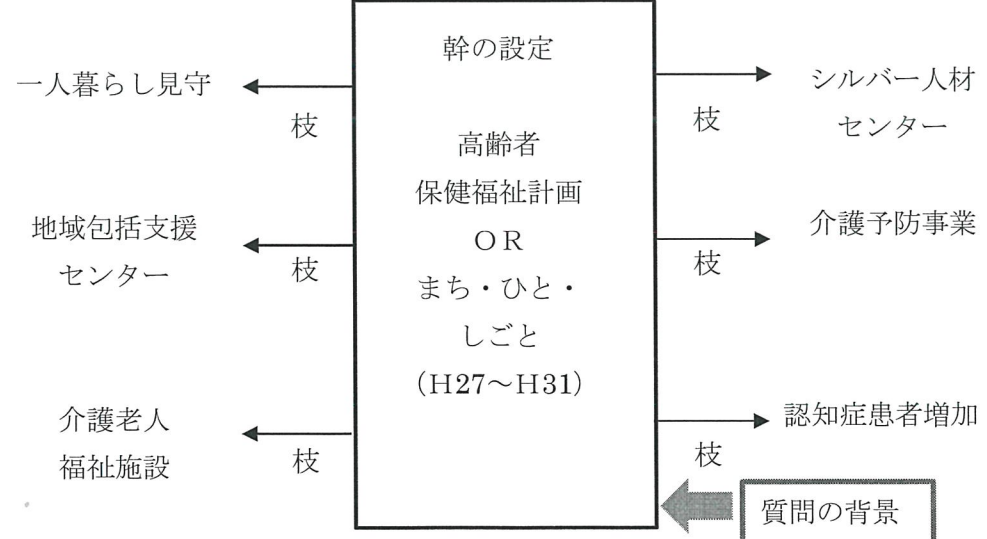
玉名市議会

議長

中尾 嘉男 様

氏名 江田 計司 

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	江田 計司		
日時	平成 31 年 3 月 26 日(火) 午前・午後 5 時 30 分 ~ 午前・午後 8 時 00 分		
場所	東京八重洲 カンファレンスセンター	参加者数	15 名
研修(研究)事項	議員 20 年の経験から話すこんな時どうする。 質問のための情報の集め方。		
概要及び所見	<p>講師 日本公共経営研究所代表 宮本正一氏 まず国都道府県からの効果的な入手方法として I (インフォメーション) C (コミュニケーション) T (テクノロジー) その為には一日どのくらい(時間) ネット(スマホ)を使っているか、色々なサイトを見ているか。 又、議員バッジをどの位使っているかつまり大概の所に入れるし、大概の人には会える。 役所が話を聞く情報要件。誰のために、何のために原稿の木を見せる。</p> 		

他の議員と違う独自の情報収集策の為にはマスコミやNPO団体等との積極的なおつきあいをする。

法律と計画を踏まえ現物を知る。勉強はメモリーツリーを使ってまずは総合計画を把握せよ。

第八次高山市総合計画と関連改革を紹介。そして平成31年度予算のポイント等。

全世代型の社会保障制度への転換。

- ・消費増収分を活用した幼児教育の無償化・社会保障の充実
- ・消費増収による経済への影響の平準化に向け、施策を総動員
- ・防災、減災、国土強靱化対策

財政の健全化に向けた予算の配分などを説明。今回の研修は数字の面でも説明を受け、大変有意義であった。